

一般社団法人まちづくりなみえの事業内容

— まちの再生・復興・創生の実現に向けて —

平成30年12月
一般社団法人まちづくりなみえ

浪江町で起きていること

- ①広域分散避難・6年間人口ゼロ・8割の帰還困難区域
⇒時間の経過とともに、生活・心の変化
- ②生まれたことば : 全ての町民の暮らしの再建・町残し
- ③膨らむ復興事業
- ④既存のまちがある
- ⑤コミュニティの激変(隣が見えない・元の6地区49行政区)
- ⑥商圈を失う・働く場を失う
- ⑦農林水産業との向き合い方(風評被害・高い兼業農家率・担い手)

設立目的・概要

- ・協働のまちづくりの実現
- ・美しいふるさとづくり(生活環境の維持・向上)
- ・地域活動の活性化
- ・若者から高齢者までが活躍できる場の創出
- ・観光・交流の活性化
- ・町の情報発信

会社名:一般社団法人 まちづくりなみえ

設立年月:平成30年1月22日

発起人:浪江町、馬場有

理事長:宮口勝美

事務所:浪江駅前(浪江町大字権現堂字塚越2-10)

基金:3,010万円



各事業内容

① 公共施設等管理事業・・・町民雇用の実現

- ・登録制による町民雇用により実施

現在、パート従業員として20名程度の雇用を実現



② 視察・語り部事業・・・町民による震災伝承の実現

- ・登録制による町民雇用により実施
(視察・語り部の育成・継承を視野に)

平成30年4月～平成31年3月までの実施・予約件数：120件



③ 地域づくり事業(町内コミュニティ再生支援)

・・・地域コミュニティ再構築・地域活動の実現

- ・地域づくり支援専門員6名の採用(契約従業員)
- ・帰還町民・区長等の訪問を行い、住民自治機能の再構築に向けて活動

再会の場の創出(お盆・お彼岸など)・クリーン作戦による交流の場の創出
運動会支援・特定復興再生拠点における地域活動再開に向けた支援など



各事業内容

④観光ツアー事業・・・来訪者(交流人口)増加の実現

- ・町内の資源を活用したツアーの実施

- (宿泊施設としていこいの村、公園・広場でのキャンプなど)

- ・町内観光・視察対応の自転車・電気自動車・公道カートなどのレンタル事業の実施

福島県・福島県観光物産交流協会との連携による
教育・研修ツアーの実施、ツアー計画の検討
まちなかキャンプのサポート



⑤イベント事業・・・ふるさとでの交流の場の創出 来訪者(交流人口)増加の実現

- ・仮設商業施設(まち・なみ・まるしえ)のイベント企画・運営

- ・季節のイベントの企画・運営

- ・地域のふるさと交流イベントの創出・運営支援

- ・音楽イベント・スポーツイベント等の誘致

毎月第二土・日「まるしえの日」の企画・運営

桜祭り・夏祭り・音楽祭の企画・運営

地域の式典等の運営支援



各事業内容

⑥カフェ事業・・・駅前賑わい創出のひとつを実現

- ・駅前にぎわい創出
- ・町民が気軽に集える場所
- ・町民および来訪者への情報発信の場所

駅前に「かふえ もんぺるん」をオープン（11月22日～）
視察事業と組み合わせた運営

⑦世界が浪江とつながる事業・・・交流人口拡大・イノベーションの実現

- ・浪江のなかまを増やし、なかまから浪江の情報発信
- ・企業・団体等と連携して情報発信することによりなかまと共にイノベーションを起こす
- ・なかま→交流→体験→人材育成→移住・定住の仕掛けづくり
- ・世界に浪江を紹介、なかまになってもらう仕掛けづくり

（一財）福島イノベーション・コースト構想推進機構による

「福島イノベーション・コースト構想 交流人口拡大提案事業」としての実施が決定

将来の事業展開

【平成32年度以降】

- ・公共施設管理等の事業は現在の人員を母体として地域団体への移行(シルバー人材など)を視野
- ・平成32年度開業予定の道の駅管理・運営を主たる事業として展開予定
- ・観光ツアー事業の充実・拡大
(復興祈念公園等を含めた視察・研修・観光のルートや内容の充実)
- ・イベント事業の継続
- ・各種団体・民間企業等との協働による地域活動支援、収益事業の創出